

障がい福祉サービス共同生活援助施設「うきうきハウス」

大径木時代に対応したありのままの丸太柱のある施設



設計コンセプトは「めくもりの我が家を木造で」



広々とした内装空間

■ 建築概要

所在地	石岡市東石岡	施設用途	共同生活援助施設
構造・階数	木造平屋建て（一部2階）	延床面積	828㎡
事業費	—	木工事費	—
工期	—	設計者	(株)病院システム一級建築士事務所（協力：アトリエニーマ、スタジオノート、暁環境設計、田中構造事務所）
施工者	(株)鶴亀	木材供給者	—

■ 施設の概要・特徴

障害福祉サービス「障がい者・人間・生活・労働社会参加サポートセンター」としての医療法人幕内会「うきうきマイスター」利用者（現在22名）の保護者の高齢化に伴い、利用者の自宅からの通所による施設利用が困難になってきており、現在の利用者を中心に定員数18名（男子10名、女子8名予定）の永住型ハウスの設立が急務で、本施設建設に至った。施設の運用は、居住が主目的であるが、社会との交流を積極的に行うことを想定し、入居者全員が集合しても十分すぎる広さのリビングを設け、入居者家族、友人、近隣の方々と交流できる空間を設け、地域交流の促進が図られるように努めた。

■ 使用した木材や工夫した点

～子供たちの住空間を木材のインテリアで演出～

- ・設計コンセプト「めくもりの我が家を木造で」は、居住する方々は、特別なことがない限り本施設で長期に亘り生活することとなるので、自分の家「我が家」を感じることができる外部及びインテリアとするため、最も人に優しい「木」を素材として施設内インテリアは県内杉をインテリアパーツにしてデザインした（写真1）。
- ・主要部分の木材には、県内産の檜、杉材を採用した。
- ・構造形式は、在来工法とし、大空間（写真2）は、集成材の大口径横架材を梁に使用した。
- ・また、施設の安全性を高めるため、準耐火構造による仕様とした。その際に、むき出しの木材が仕上げ材となるように耐火材を貼り付ける代わりに「燃えしろ設計方式」（柱や梁を太くして燃えしろを作ることで、柱や梁の表面が燃えても建物が崩壊しないように設計）を採用し、構造木材が、表面材となるように設計した。

樹種	使用量（うち県産材）	使用部	備考
スギ	94.07㎡（94.07㎡）	柱、梁、仕上げ材	
ヒノキ	34.64㎡（34.64㎡）	土台、梁	
その他	29.37㎡（㎡）	造作	ナラ材等
計	158.07㎡（128.70㎡）		



▲写真1



▲写真2